

令和7年度 水上小学校 学校経営方針

学校教育目標

群馬県
利根教育
事務所
みなかみ町
基本方針
関係法規

【基本目標】

郷土みなかみを愛するとともに、確かな学力と豊かな人間性を身に付けた心身ともにたくましい児童の育成を図る。

児童の願い
家庭の願い
地域の願い

児童の実態
学校の実態

【具体目標】よく学び 体をきたえ 心をたがやす

目指す児童像「主体的に考え、粘り強く取り組む子」

- よく考え、進んで学習する子
- 進んで体をきたえ、やりぬく子
- 互いに認め合い、思いやりのある子

目指す教職員像「認め合い、高め合い、支え合い」

- 子どもの主体性や自立を応援し、よさを伸ばす教職員
- 主体的に取り組む、高め合い、支え合う教職員
- 児童、保護者、地域を大切にし、信頼される教職員

【目指す学校像】～一人一人がよさを発揮し、一緒に伸びる〈友達と〉〈教師と〉〈地域の人と〉～

- 自らチャレンジすることを大切に、「できた」「わかった」「がんばった」を味わえる学校
- 気持ちいい挨拶・返事と「認め合い、高め合い、支え合い」の3つの愛（合い）があふれる温かい学校
- 安心・安全で、家庭や地域から信頼され、連携・協働体制を深める学校

経営方針

- 「チーム水上」として全教職員が力を合わせて主体的・組織的に学校経営に参画する態勢の強化
- 「よく考え、進んで学習する子」を育てるための、授業を核とした学習指導の工夫・改善
- 「進んで体をきたえ、やりぬく子」を育てるための、運動への主体的な取組と保健教育の推進
- 「互いに認め合い、思いやりのある子」を育てるための、道徳教育の充実と心の教育の推進
- 必要な子どもに必要な支援が必要となときに届く一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- 地域とともにある学校づくりを目指した、家庭や地域との連携・協働

本年度の努力点

○学校経営の充実（「チーム水上」としての協働体制の構築）

- ・「認め合い、高め合い、支え合い」を合い言葉に、報告・連絡・相談を密にし、お互いに声を掛け合い、日常的に情報交換ができる明るく風通しのよい職場（職員室）をつくる。
- ・各主任がリーダーシップを発揮するとともに、学校課題の解決に向け協働体制で取り組めるようにするために、「確かな学力」「豊かな心」「健康・体力・安全」に係るチーム（部会）を組織する。
- ・運営委員会、各部会を定期的に設け、短期的な振り返りによる教育課程や組織運営及び業務の評価、改善を年間を通してPDCAサイクルで継続的に行う。学校評価委員会の部会と同一メンバーとすることにより、効果的・効率的な運営ができるようにする。
- ・人事評価においても、学校評価と関連させた適切な目標設定ができるように助言し、一人一人の学校経営参画意識を高めていく。

○確かな学力の育成（教師が「～させる授業から、児童生徒が～する授業へ」）

- ・培う力を明確にした探究型授業（課題意識、個の追究、学び合い、まとめと振り返り）を確実に実施し、児童が自ら学ぶ力を育成する。（振り返りの実施によるメタ認知能力の向上）
- ・各教科等において、自分の考えや思いを言葉で発信する活動（「説明」「伝え合い」「話し合い」など）の充実により、思考力・判断力・表現力を高める。
- ・的確な学習状況の把握と個に応じたきめ細かな指導（指導と評価の一体化）を充実させることで、基礎・基本の徹底を図る。
- ・指導のねらいを踏まえ一人一台端末等ICTを効果的に活用し、身に付けさせたい資質・能力を育成する。（考えの共有による思考力の向上、知識・理解の定着）

○豊かな人間性の育成

- ・気持ちのよいあいさつと返事、相手の気持ちを考えた適切な言葉遣いの指導を継続的に指導していく。
- ・学校行事や異学年交流において、自発的・自治的活動を充実させ、児童が活躍する場面を設定し、自己有用感を高めるとともに、自他のよさを認め合う人間関係を形成する（みなかみ山活動）。
- ・道徳の授業において、発問の工夫等により、道徳的価値について、自分との関わりで考えたり、対話を通して多面的・多角的に考えるたりできるようにしていく。（考え議論する道徳）。
- ・情報モラル教室や「SOSの出し方授業」等について、各学年の実態に応じて実施していく。

○健やかな体の育成

- ・「早寝・早起き・朝ごはん」の励行及びメディアとの健康的な関わり方について考えさせ、家庭・地域と連携しながら健康的な生活習慣を確立する。
- ・体力向上プランを活用し、運動の楽しさと喜びを味わわせる教科体育や体力づくりを実践する。朝行事やマラソンやクロスカントリースキーの指導等を通して、目標をもって主体的に運動に取り組めるようにする。

○特別支援教育の充実（必要な子どもに必要な支援が必要となときに届く支援体制）

- ・個別の指導計画に基づき、個々の教育的ニーズに応じた支援について学校全体で共通理解する。
- ・保護者との情報共有や専門家・関係機関との連携に努め、支援の効果を高める。
- ・教職員の専門性を高め、通常学級における指導の改善を図る（LITALICOの活用、学習のユニバーサルデザイン）。

○地域とともにある学校づくり

- ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と地域学校協働本部との連携を大切に、地域とともにある学校づくりに向けて、家庭・地域との連携を強化する。
- ・総合的な学習の時間を中心として、明確なねらいのもとに、地域の人・もの・ことを取り入れた地域学習や体験活動を充実させる（水上ハートタイム）。
- ・地域に向けた授業及び教育活動の公開、ホームページの活用による「水上ハートタイム」の学習成果やキャリア朝礼の公開などにも取り組む。
- ・学びの連続性を意識し、こども園、中学校との交流や相互授業参観などを通じた連携を進める。